

中小企業DX推進支援事業 2023年4月～2024年2月実施予定 ((公財)ひろしま産業振興機構)

【課題】

- AI、IoTなどのデジタル技術の導入は、イノベーションを加速させる重要な要素であり、ものづくり中小企業においても、取組が注目されている。
- 県内のIoT活用の設備投資の実施状況は、ものづくり中小企業で約25%にとどまっており、「人材が不足している」、「従業員の知識・理解が不足している」、「業務多忙で時間が取れない」、「投資対効果がわからない」等のデジタル化を取り巻く課題も浮き彫りになっている。



【目的】

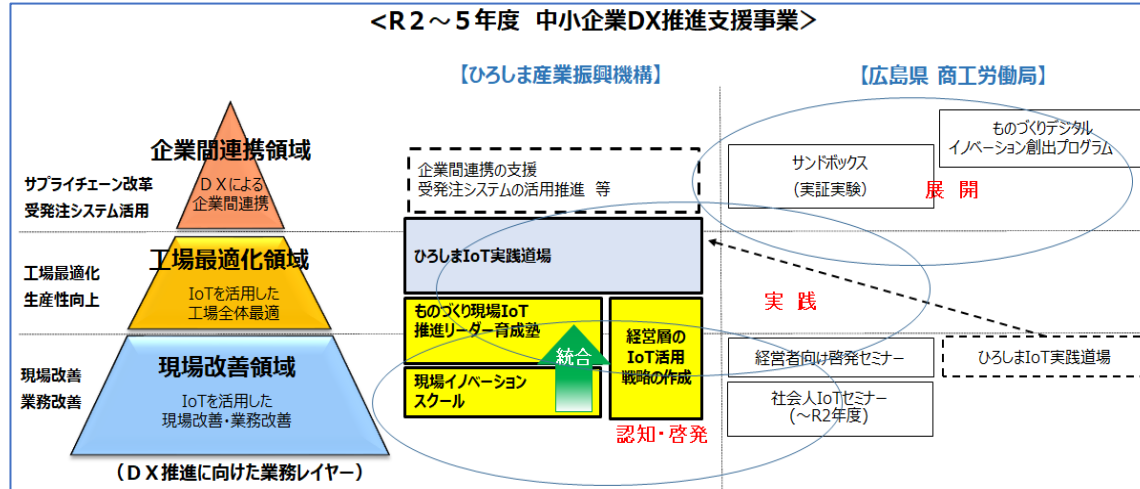
- 「現場改善領域」から「工場最適化領域」のレイヤーにわたる一連の支援を県内の中核的な産業支援機関である本財団が主催して取り組むことで、ものづくり中小企業のIoT活用を促進。
- 以て、将来的な「企業間連携領域」のレイヤーへの到達に寄与。



【都道府県の施策との連携・親和性】

- 広島県では、イノベーション立県の実現を施策ビジョンとして掲げており、その柱の一つとして、絶え間なくイノベーションが創出される環境・状況「イノベーション・エコシステム」の構築を目指している。
- 加えて、すべての施策を貫く視点としてDXの推進に取り組んでいる。

【中小企業DX推進支援事業】



【成果目標】

- 本事業を通じて、9件のものづくり中小企業のIoT実装を目指す。(R2～4年度実績：9件)
- ものづくり現場IoT推進リーダー育成塾：5件
- ひろしまIoT実践道場(2年間で1サイクルの事業)：4件(新型コロナウイルスの影響により活動開始が遅れたR3年度の2件を含む)
- 各社のIoT活用戦略(個別に設定された稼働率の向上、製造原価低減等)の達成状況を見る。



【波及効果】

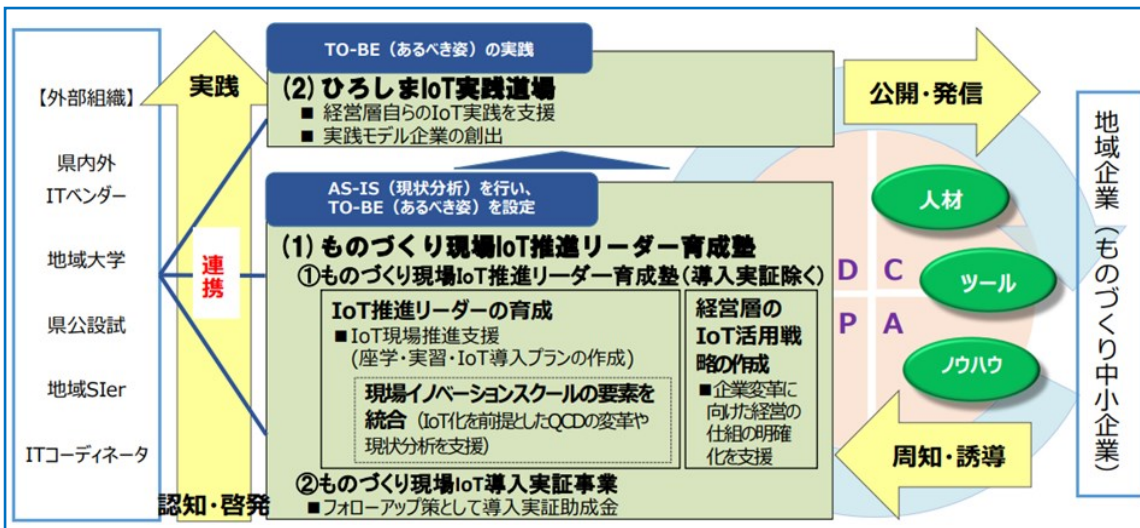
- 各種事業の成果報告の公開・発信により、触発され自発的なIoT推進のムーブメントを引き起こす。
- IoT活用したモデル企業を輩出し、IoT導入企業の裾野を広げる。
 - 伴走する地元のITベンダー・SIerが、相互作用効果で機能拡大を図り、ビジネスとして個別展開化することにより、地元企業間の繋がりを構築し、IoT導入拡大につなげる。



【将来の支援目標】

- ものづくり中小企業の「企業間連携領域」のレイヤーへの到達を支援する。
- デジタルデータを活用した、企業変革や新たなビジネス展開
 - 企業間連携やサプライチェーンの改革
 - 受発注マッチング・受発注決済の効率化等

【R5年度本事業の内容(人材育成)】



- ものづくり現場IoT推進リーダー育成塾で、現状分析 (AS-IS) を行った上で、DX推進のコアとなる人材を育成するとともに、経営層コミットによるIoT活用戦略 (目指す姿 (TO-BE)) を作成
- ひろしまIoT実践道場であるべき姿 (TO-BE) を実践
- 本事業の成果を地域のものづくり中小企業に公開・発信することにより、本事業への参加とIoTへの取組と促し、これら一連の事業のPDCAを回す